



教育目標

～グローバルイノベーターの育成～

国際高等専門学校校長

ルイス・パークスデール

1. 沿革

日本は終戦からわずか十数年で、世界が驚くほどの経済発展を実現させました。その中心的役割を果たしたのは、日本が世界に誇る「ものづくり」の根幹を成す「技術」であったことはいまでもありません。

その驚異的な日本の発展のはじまりを背景として、高専教育制度が誕生しました。技術立国としての地位を確立することを願い、社会はできるだけ多くの実践的な能力を備えた技術者の養成を求め、その願いは当時生まれたばかりの日本各地の高専に託されたのです。

そのような社会状況の下、昭和 37 年、本校は全国で最も早く創設されました。それから 58 年、今日まで 15 才からの徹底した先進的実学教育を実践し、地域に密着した私立高専として歩んできました。「人間形成」、「技術革新」、「産学協同」を建学綱領として、現在までに 6,000 名を超える卒業生を社会に送り出してきました。

2. イノベーション時代に生きる教育

この 50 数年の間に私たちを取り巻く社会情勢も大きく変化しました。社会、産業、職場においては変化のスピードが増し続け、この世界の解明を目指す「科学」(サイエンス)と、世界を変える能力ともいえるべき「技術」(テクノロジー)が急速に発展し、社会における機会とニーズも目まぐるしく変化していきます。そのような中で、今日の若者たちが将来、世界を舞台に活躍するために、どのような技術や心構え、知識が必要になるかを、私たちが前もって正確に予測することは不可能です。一定の知識とスキルさえ習得させれば、学生たちの一生のキャリアは保証され、彼らは変容する社会に対応していけるのでしょうか。答えは否です。すでにそのようなことを期待できる世中ではありません。今日の世界においては、学生たちは学び適応し、機会を追求し、挑戦し打ち勝ち、自分たちの住む社会を大きな像でとらえ、そこで自らの役割を見出す、といったさまざまな能力を得て卒業することが必要です。それゆえに、若者たちは一生続いていく自分自身の学びと成長の舵取りを担う能力を身につけなければならないのです。

社会では総じて言えることですが、職場においても新しいことや予期せぬことに対応するべく革新的な手段が必要となり、またチャレンジすべきことも増えるでしょう。社会で上手く機能した貢献していくために、課題やニーズを適切に分析し、革新的な独自の解決方法を見つけ出せるようになることが、本校の卒業生に求められるようになるでしょう。絶え間なく変化している世界では、イノベーション(革新)を求める声が常に存在しています。イノベーションというのは心構えとスキルの両方から成り立つものです。イノベーションには寛容さと探究心が必要であり、何事にも疑問を持ち批判する態度と失敗から学ぶ精神的強さが求められます。また、問題を認識し分析する能力、研究し学ぶ能力、共有し協働する能力、そして創造する能力も要求されます。本校における私たちの目的は、積極的な変化を起こす機会を最大限に利用しながら、常に変化から学び、またそれに応えられる革新者を卒業生として輩出することなのです。

本校は教育におけるイノベーター（革新者）として、1）創造性：Creativity、2）グローバル化：Globalization、3）やる気：Motivation、3つのキーとなる分野に焦点を絞っていきます。

1) 創造性：Creativity

私たちの生活の根本を支えている「技術」とは、「創造性」なのです。それは私たちの環境と相互に作用して社会を築き、生活していくための、重要な方法なのです。それは私たち人間を人間とし得る一部でもあります。エンジニアリング（工学）の基本的な過程への洞察と、エンジニアリングの社会におけるさまざまな側面との関わり合いを注視することは、すべての人々にとって不可欠です。創造性は、技術者として社会に貢献し、また技術者自身が活動的で充実した人生を送るために、ますます重要な要素となってきています。

本校では、創造性と「ものづくり」を通した価値観を養うため、デザイン手法、世界規模で進む革新的工学教育「CDIO」と連動した体験重視の工学教育、目標達成型プロジェクト、学生中心の研究活動、ロボットコンテストやプログラミングコンテスト、デザインコンペティションなどのコンテスト参加、そして豊かな心を育む一般教養教育を実施しています。

2) グローバル化：Globalization

現在の世界経済は、世界中のほとんどすべての職場が他の職場と結ばれているといっても過言ではありません。今やその結びつきは特定の地域だけにとどまらず、ものの見方や考え方を一国のみの基準ではかることは難しくなっています。他の国々の産業との交流や協働からもたらされる機会を見逃すことはできません。そして、世界での共通言語として日本語を使用することは現実的ではなく、私たちは世界の経済、文化が動く場で最も使用されている英語の習得を避けることはできません。

本校では、コミュニケーションの手段としての英語を身につける少人数英語教育、外国人教員と英語で専門科目を学習する工学・英語協同学習、アメリカへの海外英語研修、ニュージーランドへの1年間留学、シンガポール修学旅行、シンガポール・ポリテクニク生を迎えてのマイルプログラム、海外インターンシップ、東南アジアで現地の人々と生活をともにし、ものづくりやデザインに取り組むラーニングエクスペリエンスなど、グローバル化を体感できるさまざまな活動の機会を提供しています。

3) やる気：Motivation

価値あることを学ぶには何事も時間と労力を要します。学習する者にとっては、学習に対する個人的な強い関心が欠かせません。そのような関心は、学ぶ予定の知識やスキルの実用性を理解すること、価値のある目標に向かって進んでいる感覚、そして継続することで得られる達成感から生まれます。本校では、学習する者のやる気を育て、維持するようなさまざまな機会を設けています。豊かな自然の中で、のびのびとした生活を通し、人間性を育む研修活動、夢や目標を叶えるためのキャリアデザイン、資格取得支援、地域社会に貢献するボランティア活動、インターンシップ、そして部活動など、教室や教科書、黒板などを越えた豊かで興味深い学習・活動が用意されています。

最後に：Innovation again

革新（Innovation）は今日の世界を、若者たちが知識やスキルで絶え間なく成長し発展する革新者（Innovator）として競い合える未来へと力強く導いていきます。私たち国際高専も、絶え間ない革新を通じて、急速に近づきつつあるさまざまな課題に立ち向かう準備ができています。